

2023年夏渡航





2023年夏渡航



ホストファミリーとたくさん話すことで
いろいろな表現方法を知り
今後の英語学習への刺激になりました！

工学部 土木工学科 4年 氏家 京香さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否：可・不可

派遣先：アメリカ・UCI(2週間)

大学入学後、いつかは北米方面へ海外留学をしてみたいという気持ちがありましたが1,2年はコロナ禍で渡航ができず、3年は就職活動で忙しく…という状況でした。4年生になり就職活動が落ち着き、研究等で忙しくはありましたが行くなら今年がラストチャンスだと思い参加しました。私自身海外が初だったので、短めの2週間を選びました。

研修中は午前中の授業の時とホストファミリーと過ごす夕方から夜にかけてが、英語にしっかり触れられる時間でした。家に帰ってきてからはなるべくホストファミリーといろんな話をするを心掛けました。私自身話下手で会話を作るのが苦手でしたが、その日あったことを報告したり買ったものや驚いたことを話したりして、英語で話す時間を作りました。

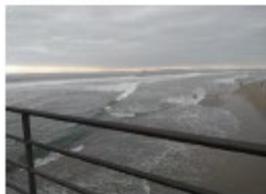
また、それ以外の時間にも英語に触れる機会があり、それが週2回ほどあったCPミーティングという現地学生と過ごすセッションでした。日本人学生5人ほどと現地学生1人のグループでゲームをしたりショッピングモールを回ったりする時間で、一緒にお買い物をしたり、昼食を食べたりと、密な時間を過ごせたと思います。

さらにこのプログラムは、オプションのツアーが充実していました。ビーチへ行ったりユニバーサルスタジオやディズニーへ行ったりと、普段ならできないような充実した生活を送りました。短期間で特に最後の3日間はアクティビティが続いていたこともあって本当にあっという間でしたが、海外の文化を知ることができ、また英語でコミュニケーションするときは間違えを恐れず自信をもって話すことが重要だということを知り、今後の私自身の英語学習に対する刺激にもなりました。この気持ちを忘れずに今後の語学学習につなげていけたらと思っています。充実した2週間で、人としても少し成長できたような気がしています。遊びなどのアクティビティを大いに楽しみつつ英語の勉強もしてみたいという人におすすめのプログラムです。

たくさん撮りましたがあまり出してしまうとつまらないので少しばかりおすそ分けです。まずはキャンパス内の写真です。日本の大学とは比べ物にならないほどの規模で初日から驚いていたのを覚えています。広大なグラウンドもありました！



こちらはビーチの写真です。4か所ほどの異なるビーチに行きました。どのビーチも違った個性があってとてもきれいでした！



エンゼルススタジアムの写真です。残念ながら大谷には会えませんでしたが大迫力のスタジアムでした。



下の2つは私のお気に入りの写真です。左側はIN N OUTというハンバーガー屋さんで買ったアニマルバーガーです。安く美味しい学生に優しいお店です。右側は道端で会ったリスです。日本ではないような光景にほのほのしました。写真は無いですが現地ではウサギも見ました！



大学の授業以外にも、英語を多く使う機会を自ら作り、現地で様々な経験を積むことができた。

工学部 電気工学科 2年 原口 福平さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先：アメリカ・UCI2週間

このUCIでの語学研修を通じて、現地の大学の生徒や他国の生徒との交流を深め、英語を日常的に使うことを心がけました。留学中の一日の流れとして、午前中は大学で英語の集中講義を受け、午後は基本的に自由活動となっており、UCIの学生やフランスの留学生と一緒に、UCI周辺の有名な観光スポットに訪れ、買い物をしたり遊んだりしました。

午前中の英語講義では、主に英語のスピーキング・リスニング力の向上を目的とし、英語の文法やアクセントについて勉強し、また日常英会話で使うスラングについても学びました。授業についていくことは大変でしたが、とても興味深い内容ばかりで、今後の英語学習に大いに役立てました。午後の自由行動では、UCIの学生とはグループでディスカッションを行い、自分の意見を英語で伝えました。英語を話すことだけでなく、コミュニケーションをとることもかなり苦労しましたが、とても良い経験になりました。フランスの留学生とは一緒に観光スポットを回りながら、お互いの国の文化や習慣について話し合いました。特にアニメや漫画が好きだという点に関しては全くの共通点で、すごく話が盛り上がりました。

二週間という短期間のプログラムでしたが、その短い間でとても有意義な経験をすることができました。本格的に英語を道具として、自分の意見を述べたり、相手の話を聞いたりすることは初めてだったので、今後の英語学習や海外渡航に活かすことができたと思います。また日本にいても、留学生との交流ができるGLCに積極的に参加し、英語を身近に使っていきたいです。

必然的に英語を話さなければならない状況
のおかげのため、英語を話すことに抵抗がな
くなりました！！

工学部 材料工学科 3年 明石 桃果さん



参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先： アメリカ・UCI 2週間

英語を話せるようになって海外の友達を作れるようになったり、日本に来て困っている外国人を助けたりできるようにになりたいと思い語学研修に参加しました。2週間という比較的短い期間であったため気持ち的にも経済的にも優しかったので参加に踏み出しやすかったです。

現地では授業もしっかりあり、最後にはパワポとともに発表がありました。英語で発表する内容を考えて、それを暗記して発表に挑むのですが、日本にいたときは、日本語を覚えるのも大変なのにとすぐに思ってしまうところ、スラスラ英語を覚えて発表に挑むことが出来ました。帰ってきた今もそれをできたことにとても驚いています。授業後は現地の生徒と買い物に行くアクティビティがありアメリカの大学生の生活や好み等を聞くことが出来、現地の食べ物を食べたり買い物をしたりしながらの交流はとても楽しかったです。

授業外でもアクティビティがたくさんあり、ユニバーサルスタジオやディズニー、LAスタジアム、ビーチなど様々な場所に行くことが出来ました。

また、このプログラムはホームステイなのでホストファミリーと多くコミュニケーションをとる機会があります。家庭によりますが私の家庭は一緒にジャグジーに行きました。最初はとても不安でどうしたら良いかわかりませんでした。だんだん打ち解けてきてたくさん話すことができました。ご飯も美味しく、とても過ごしやすかったです。

この語学研修を機に英語を話したいという意欲が飛躍的に向上しました。今後はもっと話せるように観光ボランティアなどにも参加したいと考えています。

短期間で生きた英語にたくさん触れることができ、自分の英語力を試すいい機会になりました

工学部 電気工学科 2年 大内優生さん



参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先：アメリカ・UCI2週間

普段の大学の授業で英語を学ぶことはあっても実際に外国の人と話す機会はなかなかありません。そのため、自分が実際どのくらい英語を話すことができるのかが分からなかったので、学校を休むことなく短期間でたくさん英語が話せる環境に身を置いてみたいと思いこのプログラムに参加しました。

滞在期間中は、平日は午前中に80分の授業を2つ受講します。アメリカの発音、スラング、文化など幅広く学び語学研修の最後にはプレゼンテーションもありました。授業内はすべて英語で行われますが、間違いを恐れず積極的な発言が求められます。午後には週2回、CPミーティングというものがあり芝浦生4、5人に1人UCIの学生が付き、一緒にボードゲームをしたりショッピングをしたりと現地の学生と交流できる時間がありました。また現地の学生だけでなく、自分たちと同じ日にフランスから留学しに来たフランス人たちと仲良くなり休みの日に一緒にショッピングをしたり家に遊びに行ったりしました。会話はすべて英語だったのですが、フランスの人たちの英語力の高さにとても驚きました。

終わってみるとあっという間でしたが、アメリカの文化を感じることができたり、外国人の友達ができたりと日本では経験できないことをたくさん経験することができました。またUCIでの授業やフランス人との交流、ホストファミリーとの会話などを通して自分の英語力はまだまだ低いと改めて知ることができ、これからの英語学習の良いモチベーションとなりました。



UCIでの授業を通して、自然な英語力を身につけられました！数多くのアクティビティーもあり、あっという間の2週間でした！

工学部 機械工学科 1年
大塚 海斗さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否：可・不可

派遣先：アメリカ UCI

英語を読んだり聞いたりすることは比較的得意だったのですが、話すことがあまり得意ではありませんでした。元々海外にも友達がほしいと思っていたので、英語をスラスラ話せるようになりたい！と思っていたのですが、中々話す機会を得られずにいました。そこで今回の留学プランを見つけ、スピーキング力を高めて友達を作る絶好のチャンスだと思い、参加することを決めました。

uciに留学として来ていたのは芝浦の生徒だけでなく大阪やフランスから来た生徒もいたため、様々な人と交流することができ、カルチャーショックを受けることができました。留学中に受講した英語の授業は午前中に3時間しかなかったのですが、芝浦や大阪の学生と英語で会話をしたり、「自分が死ぬまでにやりたいことリスト」を作成してみんなの前で発表をしたり、アメリカの文化について勉強したりと、盛りだくさんでした。休み時には先生も含めてクラスメイト全員でfrisbeeをしたりもしました。放課後には少人数のグループに分かれてuciの生徒1人についてもらい、周辺を散策したりするCPミーティングというのがあり、uciの生徒と色々なことを話しながらショッピングなどを楽しみました。休みの日にはディズニー・アドベンチャーやUSHIに行き、たくさんの思い出を作ることができました。アクティビティーに参加する中でフランス人と関わる機会があり、英語で積極的に話しかけて友達になることができたので、アメリカに来てよかったな、と思いました。

初めのうちは慣れない環境下で過ごすのが正直つらかったのですが、積極的に行動をしたり、わからないことはすぐに聞いたりすることで徐々に慣れていき、気づいたときには2週間経っていました。それと同時に自然な英語力も身につけていました。この留学で得たものは数えきれないほどありますが、中でも特に印象に残ってるのは、「何事も挑戦すべき」ということです。いくつもの挑戦を積み重ねたからこそ、自然な英語力を身につけることができたのだと思います。今回の経験を活かし、他の様々な国や地域にも訪れてみたいです。



英語を話す機会がたくさんあり、アメリカの暮らしを体験できる充実した2週間でした！

工学部 土木工学科 3年 原 堅志郎さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先：アメリカ・UCI2週間

「大学生の間に、一度は留学をしてみたい」と大学生になる前から考えていたため、思い切って今回の語学研修に参加しました。その中でも、ホームステイを体験できること、アクティビティが豊富であることからカリフォルニア大学アーバイン校を選びました。

現地では午前中に授業、午後は現地の学生との交流やビーチに行くアクティビティ、研究室見学などがありました。授業はすべて英語で行うため、英語力向上にはもってこいの時間でした。しかし、個人的には授業以外の時間の方が英語力を伸ばすためには重要だと感じました。その中でも最も大きかったのが、留学生との交流です。滞在期間中はフランスからの留学生がいて、何度か話す機会がありました。自分はそこで積極的に話しかけました。初めは聞き取れなかったり、言葉が出てこなかったりと苦戦しましたが、だんだんと慣れていきました。その結果、友達になることができ、何度か昼ご飯を一緒に食べたり、ショッピングに行ったりすることができました。また、ホームステイであることも英語に触れる機会を増やしてくれました。ホストファミリーと一緒にご飯を食べたり、テレビを見たりする中で英語をたくさん話せることに加えて、現地の生活様式や食文化などたくさんの貴重な経験をすることができました。アクティビティもとても充実していました。平日はビーチや野球観戦に行き、休日にはユニバやディズニーなどに行き、とても楽しい思い出を作ることができました。

2週間はとてもあっという間でした。しかし、2週間で英語を話せるようになって感じました。そのためには、自分から積極的に行動すること、失敗を恐れないことが重要であると気づかされました。今回の語学研修に思い切って参加したこと、またカリフォルニア大学アーバイン校にしてとても良かったと思います。この貴重な経験を、今後に活かしていきたいです。

普段学んでいる英語を実際にコミュニケーションの手段として活用することで英語のスキルが向上しました！

工学部 情報工学科 1年 山之内 梨沙さん



参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先： アメリカ・UCI2週間

私は今回人生初めての語学研修かつホームステイを経験しました。私が語学研修先をアメリカのアーバインにしたきっかけは、まだアメリカ本土に行ったことがなかった事と、アクティビティが充実していた事でした。

この2週間でユニバーサルスタジオやカリフォルニアディズニーに友達と遊びに行ったり、普通の観光では体験できないアメリカの学校の授業やラボ見学なども体験することができました。学校の授業はスピーキングや文法を学んだり、アメリカの歴史や文化について調べ学習をしたりしました。授業が全て英語で進んでいくことに初めは不安を抱いていましたが、先生方が分からないことは丁寧かつ親身に教えてくださったおかげで、最後まで楽しく授業に取り組むことができました。放課後には週に2回決められたグループでの活動があり、現地の大学生と一緒にゲームやショッピングをしながら英語でコミュニケーションをとることで、普段の生活ではあまり使わない英語のスピーキング能力を高めることができました。ホームステイ先では、学校では味わうことのできない生活面における文化や常識の共通点や相違点を感じたり、思っていたアメリカのイメージと実際の生活の違いなどを体感することができました。

初めは知らない土地での2週間の生活に不安と緊張を抱いていましたが、心温かいホストファミリーや、気さくでいつも笑顔で接して下さる先生方、現地の学生スタッフのおかげで素敵な思い出を作ることができました。今後は語学研修で身につけたスキルを向上させていき、他のプログラムへの参加や留学なども積極的に取り組んでいきたいと思えます。



英語力向上というよりも外国人との英語を通じたコミュニケーションや語学研修を通じた人脈が大きな財産です

工学部 情報工学科 4年 松原 太佑さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先： アメリカ・UCI2週間

今回、UCI2週間コースを選択した理由は、プログラムのアクティビティが一番充実していて刺激的な体験ができることと、過去に1度アメリカに2週間程度ホームステイをした経験があり、全てが新鮮で日本とは違う環境の中で生活することが自分を成長させたため、社会人になる前にもう一度そのような経験しておきたいと思ったからです。また、期間が2週間と短いため、英語力向上というよりも、その短期間の中で外国人と交流したり、色々な観光地を巡りたいと考えていました。

プログラムのスケジュールは平日の午前中に授業があり、英語でアメリカの歴史や文化について学んだり、たまにディスカッションやプレゼンテーションをしました。午後は基本的にフリーですが、CPミーティングという、SITの班ごとにUCIの学生が1人付き、キャンパスを案内してもらったり、ショッピングモールにいたりするイベントが週2であったり、金曜はビーチやエンゼルススタジアムなどのアクティビティがありました。また、個人的に仲良くなった外国人留学生の滞在先に招待してもらい、プールやジャグジーに入ったり、一緒に外食をしたり、ホームステイ先の他大学の日本人と遠出して日本食を食べに行くなど、毎日予定がありとても充実していました。自分のホームステイ先はアットホームというよりも個人主義な感じで、各ルームメイトに鍵が渡され、門限もなく自由に出入りしてよかったので外出ばかりしていました。食事や衛生面はやや気になりましたが、ルームメイトが多く、彼らと仲良くなれ、ホストマザーにもあまり気を遣わなかったので過ごしやすかったです。休日は、ユニバやディズニー、LAツアーなど予定が詰め込まれていました。移動手段は、家から大学まではバスで、それ以外はUberでした。アクティビティの際は大学から専用バスがでます。

参加当初は誰一人知り合いがいまいませんでしたが、帰国時にはSITの学生を含め、同じプログラムに参加していた大阪の学生やホームステイ先のルームメイト、フランス人の留学生、UCIの学生など多くの人とのつながりを得ることができ、自主性とコミュニケーション能力の大切さを実感しました。



あまり英語に自信がない人や、はじめての海外経験となる人に非常にオススメです！

システム理工学部 電子情報システム学科
1年 鍵和田幹太さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可 派遣先：アメリカ・UCI2週間

私はある程度英語に自信がありつつも、人生ではじめての海外経験であったため、短い2週間のプログラムを選択しました。実際、このプログラムは英語や海外にあまり慣れていない人でも非常に参加しやすいものでした。

プログラムのおおまかな構成は、平日は午前2コマの英語の授業、午後はフリー時間で、週末にディズニーなどのアクティビティがあるというものです。英語の授業は先生こそ現地の人ですが、学生は全員同じ芝浦の人だけなので、お互いの英語力を補いあって学習することができます。また、学外へ出る時間も多く設定されているので、観光気分でも英語の勉強もできる、かなりお得感のある印象でした。

留学先のアーバインは全米一の治安の良さと、日本よりも(夏は)涼しい気候により、非常に過ごしやすいです。ただ、ひとつ覚悟しておくべきなのは、ホストファミリーの当たり外れは大きいということです。家の設備が不便であったり、ホストファミリーとのコミュニケーションが難しいこともあります。そういったことも経験だと思える忍耐力が必要でしょう。

上に観光気分とも記述した通り、あまり英語力の上達に特化したプログラムではありません。しかし、当然2週間英語に囲まれて生活するため、間違いなく自分の英語力は上がったと思えます。初めての海外生活としてはこの上なく素晴らしいものになったため、この経験を活かしてより長期なものや、高度な英語力が要求されるプログラムにも参加したいと考えています。



ホームステイを経験し、常に英語を話す環境に恵まれ、英語学習へのやる気が増しました！

システム理工学部環境システム学科1年
富岡 拓海さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先： アメリカ・UCI2週間

自分はもともと洋画や洋楽などが好きで、特にアメリカに行くことに憧れを抱いていました。芝浦工大に入学し、語学研修といったプログラムがあることを知り、アメリカの大学へ短期間で行けることを知り、UCI2週間のプログラムに応募しました。

滞在期間中は、午前中約3時間の英語の授業があり、午後は現地のUCI学生との交流をしたり、ショッピングをしたりなど比較的自由に遊べる時間が多かったです。土日祝はユニバーサルスタジオやディズニー、ビーチなど遊びを満喫しました。英語の授業は比較的生徒同士でディスカッションをする機会が多く、自分の意見を発言することが多かったです。日本の大学の授業スタイルと違うことに気づきました。また、ディスカッションをすることで、自分の意見をアウトプットすることができるだけでなく、相手の考えも知ることができるので、一石二鳥であり、自分の思考幅を広くすることができたと思います。ホームステイ先では常に英語でホストファミリーと話していました。ホストファミリーと洋画の話で盛り上がった時が一番英語の勉強を今までできて良かったと思いました。もっと英語を話せるようになり、たくさんのお話を話したいと思いました。

二週間というとても短い期間でしたが、授業やアクティビティを通じてたくさんの同じ境遇の友人ができ、交流を深めることができました。また、英文が読めたとしても英会話が必ずしもできるとは限らないことがわかりました。一つ一つの英単語の発音を、注意しないと現地の人々には通じないことも今回の渡航でわかりました。これから英語学習を行う時は発音を特に注意したいと思いました。今後はTOEICの点数を伸ばし、自分の専門科目を海外の大学の授業で受けれるレベルに到達したいと考えてます。



語学研修に参加したことで実践的な英語力が身に付き、新たな視点が増えました。

デザイン工学部 デザイン工学科 2年
葛西 雪乃さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先： アメリカ・UCI2週間

昔から英語は苦手ではあるが、好きで将来海外の人ともコミュニケーションを取りたいと考えていました。しかし、中々授業外学習の時間を確保できない、実践的な英語力を身に付けられる方法がないなどの理由から行動に移せず、伸び悩んでいました。そこで一層のこと現地に飛び込んでみることで何か変わるのではないかと思い、参加を決意しました。

滞在期間中は平日は午前中講義を受け、クラスの人と英語で意見交換をしたり、みんなの前で軽いプレゼンをするなどスピーキングメインの実践的な内容でした。午後は週に二回ほどCPミーティングという現地学生一人に対し芝浦生四人ほどの小さなグループになってどこかショッピングに行ったり、室内で会話をしながらゲームをしたりするので現地学生と楽しく会話できます。特に予定のない午後や休日にはアクティビティが任意参加で用意されているため、海外を観光、楽しみながらも日常の自然な会話、習慣などに沢山触れることができ、良い経験になりました。また、語学研修には同じ芝浦でも学年、学部様々な人が参加するが、この短期間でも沢山交流があるため、研修後も関係が続いており、お互いの英語のモチベを高める良いつながりが生まれました。

アメリカUCIのプログラムは宿泊先がホームステイというのが大きな特徴であり、より英語を必然と使用しなければならない環境を提供してくれる、約二週間という短期間だが、授業だけでなく、現地学生と交流ができるCPミーティングや種類が豊富なアクティビティを通してアメリカを十分に満喫できるとも濃いプログラムだと感じました。語学研修に参加したことでその期間、海外でなんとか生活できたんだという事実が自信になりました。また今回をきっかけに海外へのハードルが下がった、海外への興味がわき、一気に視野が広がりました。語学研修なんて無理と思う気持ちはとてもわかります。私自身初海外でした。ですが、思い切って参加することで沢山の濃い経験ができると共に帰国後も考え方が変わると思います。ぜひ参加してほしいと思うプログラムでした。



アメリカでの生活、英語だけで無く、得られたことはたくさんありました

建築学部 建築学科 1年 本郷魁星さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先： アメリカ・UCI2週間

芝浦に入学した時から、大学のプログラムで留学をしようと考えてました。僕はこれまで海外に行ったことはなく、ずっと違う文化の人々や暮らしに触れてみたいという思いがあり、どうせ行くなら早く行ってしまおうと、1年の夏に行くことを決めました。アメリカ・UCIに決めた理由は、英語を母国語とする国に行き、本物の英語に囲まれたかったからです。また、このプログラムはカルフォルニアディズニーやビーチなどのアクティビティも充実しており、短期留学にはとても良いと思ったからです。

留学先の大学がある地域は、昼間は気温が高く日差しも強いですが、乾燥していて、とても過ごしやすいです。午前の授業では、現地の先生と一緒に、クラス全員が積極的に英語を使い意見を交換し、とても価値のあるものとなりました。また、英語を用いながらアメリカの文化や、世界のことについて学ぶことができました。午後には、現地の学生の方と一緒にグループに分かれてCPミーティングというのを行い、広大な大学のキャンパスを散策したり、ショッピングに行ったりしました。

また、このプログラムはホームステイというのがとても魅力だと思います。アメリカの家族の一員となり、常に英語で会話をし、深くアメリカの習慣について知ることができました。私が滞在していた地域は、とても気候が快適で過ごしやすく、治安も良く、街の人々がとても温かく、とても気に入りました。

僕が参加したプログラムは2週間というとても短い期間でしたが、英語の会話に参加することや英語を話すことに抵抗感が無くなりました。また、アメリカの習慣や文化について深く知ることができたのと同時に、改めて日本の良いところや、日本よりも良いところを知ることができました。今回の留学は、自分の海外に対する考えや英語に対する第一歩であると思います。この機会を価値のあるものにするには今後の自分の行動が大事になってくると思いました。



ホームステイ先の家族との交流を多く持つことで、大学以外でも英語に触れリスニング力が上がった。

デザイン工学部 デザイン工学科 2年岡田一華さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否：可・不可 派遣先：カリフォルニア UCI

小さいころ3年間ほどカリフォルニアに住んでいました。小さいこともあり現在はあまりしゃべれない状態で、英会話に入っていたので人よりはリスニング力がたけていた程度の英語力でした。一年生では一人暮らしのため諦めていた中で2年生で参加するタイミングがあり迷いはなく参加した形でした。今回は夏休み中にある実習の影響で2週間のプログラムにしか参加できませんでしたが、参加してみて2週間よりもっと長くいたいという気持ちでいっぱいでした。参加してみて授業は日本人だけでしたが先生の対応がよく、授業中も授業外も英語で頑張ってみようという友達間で決めるほどモチベーションを上げてくれる授業だったと感じています。今回はフランス人もいたので積極的に話に行き、放課後のアクティビティのUCIの生徒との交流でもががつと話に行きました。おかげで自分にも自信がつき、間違ってもいいから話そうと思えるようになりました。ホームステイ先では毎晩一緒にご飯を食べたり映画を見ては、日本のことや大学のことを話して自分の感じたことを伝えることに挑戦できる機会が多くありました。ホストファミリーと休日を通り様々な場所に行くことでより文化になじめた気がします。もともと住んでいたり英会話に通っていたりと海外の接点があったがこのプログラムに参加したことで、より活力が湧きこれからも積極的に参加できるモノには参加していきたいと思いました。更に10月にはホストファミリーが日本に来るという事でおもてなしをする予定です。このようなつながりが日本に来ても続くというのはとても貴重だと思うので、語学研修で止まるのではなくインターンシップや交換留学など挑戦してみたいと思います。



ホームステイファミリーや留学先の友達との会話を通して自分の英語に自信がつけました。もっと英語の勉強をしたいと思います。

建築学部 建築学科 1年 宇野 綾花さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先： アメリカ・UCI

元々、英語が好きで自分で勉強をしていましたが、英語で会話するなど実践する機会がありませんでした。語学留学プログラムの中でもUCIは授業のほかに現地大学生とコミュニケーションをとる機会が多くあったため今回参加を決めました。また、将来長期期間での留学をしたいと思っているのでそれに向けての一つの経験として参加を決めました。

留学中は午前約3時間授業を受けました。英語を学ぶ授業というよりは英語であるテーマに沿った内容を学んだり、アメリカンカルチャーについて考えたりする授業でした。ほかにも英語でスピーチをしたりとより実践的なことを学びました。授業自体は午前中のみですが午後には現地大学生と2時間ほど交流する時間がありました。会話を楽しんだり、一緒にショッピングに行ったりとても楽しかったです。

参加したプログラムは2週間と短いですがとても内容の濃い2週間になりました。ホームステイファミリーや現地学生の友達など多くの人と英語で会話することができました。その経験によって自分の英語に自信がつけました。また、いろいろなバックグラウンドを持つ人と交流して視野を広げる事が出来ました。今回の留学を通してに向けて自分に足りないところや逆に得意なところを確認する良い機会になったと思います。その経験を生かして将来、専門的な留学プログラムに参加できるように努力していきたいです。